

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	スケートのまちづくり事業	コード	113410
-------	--------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 小口 康生
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スケートのまちづくり事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	アイスアリーナ等のスケート施設を活用し、多くの市民にスケートに触れ、体験してもらうため、スケート教室、ファミリースケートデー等を実施する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	市民スポーツの振興を図る	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>下記の大会等の開催や支援を行った。</p> <p>【大会】13大会 1,721名          ≪スピードスケート≫8・1,289          やまびこカップスピードスケート競技会（12/2・259名）、長野県中学校スピードスケート競技会中南信大会 兼 諏訪郡市中学校スケート大会（12/8, 9・94名）、長野県ジュニアスピードスケート競技会（12/23・228名）、国民体育大会スケート競技会長野県予選会（12/22・72名）、長野県プリントスピードスケート選手権大会 兼 全信州スピードスケート選手権大会（12/29, 30・310名）、市民スケート大会（1/12・19名）、三笠宮賜杯中部日本スケート競技大会（2/9, 10・98名）、諏訪地方スケート大会（2/11・209名）          ≪ショートトラック≫2・127          長野県チャレンジカップショートトラックスピードスケート選手権やまびこ大会（9/29・102名）、長野県ジュニアショートトラックスピードスケート選手権岡谷大会 兼 長野県ショートトラックスピードスケート選手権大会岡谷大会（2/24・25名）          ≪フィギュア≫1・11          国民体育大会フィギュアスケート競技会長野県予選会 兼 長野県高等学校総体フィギュア競技会（11/18・11名）          ≪アイスホッケー≫2・294          岡谷市長杯争奪長野県ジュニアアイスホッケー大会（10/21・56名）、国民体育大会アイスホッケー競技会信越・東海・近畿ブロック予選会（少年）（12/23, 24・238名）</p> <p>【教室】6教室 1,175名          初心者スケート教室（10月～11月・120名）、アイスホッケー教室（12月・46名）、カーリング教室（12月～2月・27名）、おかやスピードスケートトータルサポートクラブ 初心者～上級者（7月～2月・597名）、おかやスピードスケートトータルサポートクラブ アスリートコース（6月～2月・331名）、親子で氷上運動会（11/10・54名）          【ファミリースケートデー】7回 1,105名          アイスアリーナ（11月～2月・4回・412名）、やまびこ国際スケートセンター（12月～2月・3回・693名）</p>			
前年度の課題への対応	スケート競技者の増加を図るため、岡谷市体育協会及び岡谷市スケート協会、やまびこスケートの森等と連携し、スケート教室等きっかけづくり事業を実施した。		

**6 指標の達成状況**

\* 活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標(指標名)	大会等開催数			単位	大会
実績値	26	22	26		
* 指標の説明					
② 成果指標(指標名)	大会等参加者数			単位	人
目標値	4,855	4,598	4,648	4,648	
実績値	4,648	3,723	4,001		
達成度	95.7%	81.0%	86.1%		
* 指標の説明	大会・教室・ファミリースケートデーの参加者数				
* 目標値の設定方法の説明	過去3年間における実績の最大数				

**7 ア) コストの推移**

\* この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 直接事業費	4,033,547	3,692,496	3,597,120	3,755,000	
経常経費	4,033,547	3,692,496	3,597,120	3,755,000	
臨時的経費					
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	3,600,000	3,600,000	2,800,000	2,800,000	
正規職員の人数(人)	0.45	0.45	0.35	0.35	
③ 合計コスト(①+②)	7,633,547	7,292,496	6,397,120	6,555,000	
前年度比		95.5%	87.7%	102.5%	
財源内訳					
一般財源	7,361,347	7,097,396	6,220,120	6,090,000	
特定財源	272,200	195,100	177,000	465,000	
* 特定財源の説明	スケート教室受講料				
④ 活動一単位あたりコスト	293,598	331,477	246,043		
前年度比		112.9%	74.2%		
⑤ コストに関する補足説明					

**イ) 補助金負担金の状況**

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1			
②	民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1			
③	民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1			
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1			
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1			

9 有効性評価		*有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。		有効性	標準
評価項目		はい	いいえ		
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1			
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1			
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1			
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	107.5%	
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	86.1%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) スケート人口等の底辺拡大を図るとともに、競技人口の拡大及び競技力の向上が課題である。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・スケートを始めるきっかけづくりとして、スピードスケート教室とフィギュア教室を一本化した初心者スケート教室の実施により、競技人口の増加を図る。 ・スケート競技者の増加を図るため、岡谷市体育協会及び岡谷市スケート協会、やまびこスケートの森等と連携し、スケート教室等きっかけづくり事業を推進する。
改善方法	改善開始時期 平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---